

# 医学研究実施のお知らせ

東京慈恵会医科大学倫理委員会および東京ほくと医療生活協同組合倫理委員会の審査を受け、以下の研究を実施しております。

本研究に関する内容の詳細等、お知りになりたい方は下記【問い合わせ先】までご連絡ください。なお、試料・情報が本研究に用いられることについて、研究の対象となる方（もしくは代理人の方）にご了承いただけない場合は研究対象から除外いたしますので、下記【問い合わせ先】までお申し出ください。

**【研究課題名】**プライマリ・ケア現場における患者複雑性と各種評価項目との関連に関する後ろ向きコホート研究  
～通院アドヒアランス・マルチモビディティ・ポリファーマシー・緊急紹介受診/緊急入院との関連について～

## 【研究の概要】

### 研究の目的

身体・心理・社会的問題（患者複雑性）と定期的な通院を継続すること（通院アドヒアランス）・2つ以上の病気があること（マルチモビディティ）・服用する薬剤が多いこと（ポリファーマシー）・緊急の紹介受診/緊急入院の関連についてあまりよくわかっていません。この研究はこれらの関連を調査します。

### 研究期間

倫理委員会承認日から 2025 年 03 月 31 日まで。

### 研究の対象となる方等

研究機関：東京ほくと医療生活協同組合 北足立生協診療所

対象となる方：上記研究機関で、2018 年 03 月 06 日から 2018 年 04 月 05 日までの間に、課題名「日本語版 Patient Centered Assessment Method (PCAM)の信頼性および妥当性の検討」に関する調査を受けた方。

### 研究に利用する試料・情報等

上記の先行研究のために既に提供した情報：1. 身体・心理・社会的問題を評価するツール PCAM(日本語版)の結果、2. 年齢、3. 性別、4. 婚姻状況、5. 世帯構成、6. 居住形態・年数、7. 学歴、8. 就業状況、9. 保険の自己負担割合、10. 主な疾患名、11. 併存疾患を評価するスコア、12. 医師が感じる複雑度・負担度、13. 医師の性別・経験年数

今回の調査で新たに取得する情報：1. 疾患名、2. 薬剤名、3. 受診日、4. 処方日数、5. 予約日、6. 受診できなかった理由、7. 緊急紹介受診日・受診理由、8. 緊急紹介受診後の入院の有無、9. 緊急紹介受診後の他医療機関からの診療情報提供書の有無、10. 初診日、11. 医療保険の種類もしくは生活保護の受給の有無、12. 年間医療費

### 試料・情報等の授受について

受領する機関：(研究機関の名称) 東京慈恵会医科大学 総合医科学研究センター 臨床疫学研究部  
(責任者の職名) 助教 (氏名) 杉山佳史

授受方法：対応表を作成することで個人が特定できないように匿名化し、受領する機関の研究責任者が受領します。個人が特定できる情報は提供いたしません。

### 研究に利用する試料・情報等の二次利用

研究に利用する試料・情報等について、その後に利用目的等が新たに特定されたときは、研究計画書を作成又は変更し倫理審査を受けた上で、新たに特定された利用目的等についての情報を、研究の対象となる方等に公開し、研究が実施されることについて同意を撤回できる機会を保障します。

## 【問い合わせ先（対応時間：平日 09：00～17：30）】

東京慈恵会医科大学 総合医科学研究センター 臨床疫学研究部

研究代表者：<sup>すぎやまよしほみ</sup>杉山佳史 電話：03-3433-1111（内線：2390）

利用する情報等からは、お名前、住所、電話番号、カルテ番号など、個人を特定できる情報は削除いたします。

研究成果を学会や論文で発表する際も個人が特定できる情報は利用いたしません。